

ワークショップ

ロボットビジネス・マインドリセット

ロボットならではの「X 番目」の特別で劇的な新しい価値を創出する

新型コロナウイルス禍で、あらゆる産業が変革を余儀なくされ、様々な業種・分野で「新たな価値の創出」を目指す動きが進んでおり、従来の価値観をリセットし、これまでとは違う新たなことにチャレンジし続けるマインド (Challenge-ing Spirits) が求められています。

本ワークショップでは、「ロボット※ならではの特別で劇的な新しい価値」について、豊富な実務経験で蓄積してきた知見・ノウハウと独自分析に基づく国内外の最新事例を交えて、徹底的に議論・深掘すると共に、与えられた「解」ではなく、自ら「解」を導き出す「ロボットビジネス・マインド」をコーチングします。

本ワークショップを通して、ロボットを活用したソリューションや付加価値をも上回る、ロボットならではの「X 番目」の特別で劇的な新しい価値を見出し、プレゼン発表（経営層への提案）までをゴール目標とします。

※広義のロボット（ロボット、ドローン、自動運転車など「自ら考え動くモノ」。 AI、遠隔（半自動）、パワーアシストなどのロボット関連技術を含む）

【主な対象者】新たな価値の提供を模索する企業、社内やグループで横断的事業開発を行っている企業、オープンイノベーションで共創アライアンスやコラボレーションを実施している企業・機関
経営・新規事業・DX/SDGs 推進・事業企画・研究開発・マーケティング・製造部門など

【推奨カリキュラム】全3回 レクチャーとワークショップで構成（1回4時間）

ロボットビジネス共通理解のための「ロボットビジネス基礎 オンデマンド学習」付（事前学習ビデオ）

第1回	レクチャー：3つの問い、レベル合わせ（現状、目的、ゴールの確認）、ロボットならではの新たな価値(事例) ワークショップ：ロボットならではの新たな価値を巡るディスカッション/グループ発表
第2回	レクチャー：1つの問い、ロボットのビジネスモデル(事例) ワークショップ：ロボットのビジネスモデルを巡るディスカッション/グループ発表
第3回	レクチャー：振り返り（現状、目的、ゴールの確認） ワークショップ：ロボットならではの「X 番目」の新たな価値×ビジネスモデル ディスカッション/グループ発表 プレゼンテーション：ロボットならではの「X 番目」の特別で劇的な新しい価値の発表（経営層への提案）

【実施日・場所・内容・料金など】実施2週間前までに相談により決定（秘密保持に関する覚書を締結）

【申し込み・詳細】ロボティック普及促進センター ホームページ <http://npo-ric.seesaa.net/>

otoiawase アット npo-ric.org ※アットを@にしてご連絡ください



【講師】小林賢一 NPO 法人ロボティック普及促進センター 理事長 / 株式会社ロボットメディア 代表取締役

これまで、介護・高齢者見守り、インフラ点検、建築施工、搬送運搬、清掃、コミュニケーション、協働ロボットなどの開発、利活用、セカンド・オピニオン、STEAM 教育の実務に多数関わり、現在、ロボットビジネスに関する様々な相談に対応している

【講師略歴】

ロボット産業創出推進懇談会 座長(2016～2021)、ロボット保険サービス 代表 (2012～2021)、かわさき・神奈川ロボットビジネス協議会 事務局
長 (2011-2015)、ロボット実証実験実行委員会 委員長 (2011-2014)、介護・医療分野ロボット普及推進委員会委員(2010～2012)

2005年 ロボットの調査、マーケティング、コーディネート、プロモーション支援を専門に行う「ロボットメディア」を設立 (12月)

これまで、介護、医療、生活支援、住宅、宇宙、レスキュー、パーソナルモビリティ、ロボット掃除機、パワーアシスト機器、協働ロボット、テ
レプレゼンス、無人機 (ドローン)、量子コンピュータ・量子暗号通信、人工知能など、ロボット関連技術を含む国内外 90 を超える調査、500 人
を超えるロボットキーパーソンへの取材を行う

同年、ロボティックライフスタイル®コミュニケーションサイト「ロボカーサ・ドットコム」運営開始。また、ロボットを基軸にヒトと機械と社
会との関係性を考える「ロボティックライフスタイル® Journal」をスタート

2006年 ロボットと暮らす上質で新しい生活「ロボティックライフスタイル®」を商標登録 (第 4974814 号)

2007年 調査・執筆した「高齢者・障害者の次世代自律支援機器の市場性と介護施設のニーズ分析」が、神奈川県「介護・医療分野ロボット普
及推進事業」(2010年)の基礎資料となり、その後の介護ロボットの普及・実用化につながっていく

2010年 ある家族とロボットとの 20 年にわたる物語、実証実験シアター「ロボティック・ドラマ 第 1 幕 Sex Bargain Robot」を作・演出 (2012
年に英字幕付き映像編集版を製作、上映)

2011年 ロボット関連技術 (ロボティック) の一層の普及を目指す「ロボティック普及促進センター」を設立 (4月)

同年、かわさき・神奈川ロボットビジネス協議会事務局業務を開始 (～2015年6月)

また、同年から 3 年間、神奈川県実証実験支援事業の実証実験実行委員会委員長を務め、実証実験の運営手法、安全性の確保など、ロボットが普
及していくために必要なノウハウについて、総合的に取りまとめる

2013年 NPO 法人として日本で初めての損害保険代理業務 (名称:ロボット保険サービス)を開始し、ロボットやドローンの実証実験、自動運転
車のデモ走行、サイバーセキュリティなどの先進技術の保険や安全に係るコンサルティングを行う (～2021年3月)

2014年 ロボットビジネスの新たなプレイヤーになるための「日本ロボットビジネス体系講座」を開始 (毎月開講)

2015年～2016年 関東経済産業局管轄の広域関東圏 (1都10県)におけるロボット関連施策に関する行政ヒヤリング及び注目すべきロボット関連
企業、その利用動向調査を実施

2016年 利害関係のない中立で公正なロボットビジネス適正診断「ロボット・セカンドオピニオンサービス」を開始

2017年 スウェーデン労働博物館 (ARBETETS MUSEUM) の「日本の高齢者ケアにおけるロボットと新しいテクノロジー」展のためのインタビ
ュー及びロボット活用現場の視察先取材に協力

同年、収益化をテーマにした「新・日本ロボットビジネス体系講座」を開始(～2021年9月 通算 85回 受講企業:約 250社)

2021年 ワークショップ「ロボットビジネス・マインドリセット ロボットならではの「X 番目」の特別で劇的な価値を創出する」を開始

同年、ロボットマトリックス※・カーブアウト (分離販売)を開始

※ロボットビジネスに関わる世界主要約 1500社を約 700項目に分類。これにロボット専門実務経験で培った独自のノウハウを加味したプラットフ
ォーム

同年、ロボットビジネス オンデマンド・ビデオ/オンライン・レクチャーを開始

◆ロボティック・シンポジウム (ヒトと機械と社会との劇的關係性=グラン☆ロボティックをテーマにしたシンポジウム)

第 1 回 ロボット関連技術の境界線 発展する無人機の可能性と国際動向 (2013年11月 東京ビッグサイト)、第 2 回 5年後の世界 ロボット、
量子コンピュータ、量子暗号 (2016年1月 東京ビッグサイト)、第 3 回 ロボットテクノロジーの劇的進展とベーシックインカム究極の社会保障
(2016年6月 サムライインキュベート)、第 4 回 ワレラの時代 ソサエティ 5.0の先にあるもの 幸福・AGI・BI (2017年2月 東京ビッグサイ
ト)、第 5 回 ロボットビジネス・プレイヤーズ・サミット 日本ロボットビジネス体系講座 4周年記念シンポジウム (2017年10月 幕張メッセ)

◆セミナー:日本のロボットの 2019 年問題 “ロボット”に引っ張られ過ぎないためのロボティックディスカッション (2018年6月 東京ビッグサイ
ト)、データ入出力デバイスとしてのロボット (2019年6月 東京ビッグサイト)、中国製ロボットとの付き合い方 席卷される前に為すべきこ
と (2021年10月 東京ビッグサイト)、日本のロボットビジネスの「価値筋」(2022年5月 東京ビッグサイト)

◆オンラインセミナー/講座:収益化への道 ロボットビジネスをいかにスケールアップさせるか (2020年5月 Smart Sensing 2020)、ロボット
ビジネスの全貌 その序ノ口講座 (2020年10月 CEATEC 2020)、ロボットビジネス縦横無尽 (2021年7月 Smart Sensing 2021 オンライン)